



2020年1月10日

各位

会社名 株式会社竹内製作所
代表者名 代表取締役社長 竹内 敏也
(コード：6432 東証第一部)
問合せ先 取締役経営管理部長 小林 修
(TEL 0268-81-1200)

2020年2月期 通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向を踏まえ、2019年10月10日に公表した2020年2月期（2019年3月1日～2020年2月29日）の通期連結業績予想を、下記のとおり修正しましたので、お知らせいたします。

なお、2020年2月期の期末の配当予想につきましては、前回予想から変更ありません。

記

1. 2020年2月期 通期の連結業績予想（2019年3月1日～2020年2月29日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 115,000	百万円 12,300	百万円 11,900	百万円 8,700	円 銭 182.43
今回修正予想（B）	114,500	12,000	11,800	8,550	179.28
増減額（B－A）	△500	△300	△100	△150	—
増減率（％）	△0.4％	△2.4％	△0.8％	△1.7％	—
（ご参考）前期実績 （2019年2月期）	110,175	15,411	15,496	11,391	238.83

2. 修正理由

当社は、2019年10月12日に上陸した台風19号の影響で、当社のサプライヤーが浸水被災したことに伴い、部品の供給が途絶え、しばらく供給再開の目処が立たない状況が続きました。

このため、当社は代替部品による生産へと暫定的に切り替えつつ、出荷を継続してまいりました。その後、当該サプライヤーの事業再開に向けた復旧作業の進展により、2019年12月より部品供給が再開し、次第に供給数量が回復しつつある状況に至ったことから、この度、改めて通期の連結業績予想を見直しました。

この結果、台風災害発生直後から生産調整を余儀なくされたことにより、当連結会計年度末までの生産台数は前回予想を下回り、販売台数につきましても前回予想を下回ると予想したものの、第

4 四半期以降の前提為替レートを前回予想よりも円安に見直したことにより、通期の連結売上高は5 億円減少の1,145 億円となる見込みとなりました。

利益面では、売上高の減少、出荷減による運搬費の減少、及び台風19号関連の対策コストの増加を見込んだこと等により、営業利益は3 億円減少の120 億円、経常利益は1 億円減少の118 億円、親会社株主に帰属する当期純利益は1 億5 千万円減少の85 億5 千万円となる見込みとなりました。

なお、第4 四半期以降の前提為替レートは、1 米ドル=108 円、1 英ポンド=141 円、1 ユーロ=120 円、1 人民元=15.5 円としております。

(前回予想では1 米ドル=104 円、1 英ポンド=127 円、1 ユーロ=115 円、1 人民元=14.5 円)

(ご参考)

単位：百万円

地域別売上高	第3 四半期 累計実績	前回発表予想	今回修正予想		
		通期	通期	増減額	増減率
日本	445	740	490	△250	△33.8%
北米	42,711	52,620	52,520	△100	△0.2%
欧州	47,090	59,960	59,980	20	0.0%
アジア	355	480	390	△90	△18.8%
その他	881	1,200	1,120	△80	△6.7%
売上高	91,483	115,000	114,500	△500	△0.4%
営業利益	10,696	12,300	12,000	△300	△2.4%
経常利益	10,446	11,900	11,800	△100	△0.8%
親会社株主に帰属する 当期純利益	7,565	8,700	8,550	△150	△1.7%

3. 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

以上